

第605回 7月度 第4回南出杯チヌ釣り大会 レポート

平成27年7月12日(日) 天候:晴れ

【会場】福井県小浜市仏谷 川端渡船

レポート:藤阪

今回の大会は、毎年恒例となっている全チヌ合同の一泊二日の会員親睦を兼ねている大会でした。過去3回は、10月頃に行っていましたが、今回は、連盟の各クラブ代表者が釣技を競い合う大会が10月に組み込まれた事で日程を変更し開催する運びとなったのかな?と思っています。

11日の親睦会は、全チヌ8名、関チヌ5名の参加で江上鮮魚店にて親睦会が行われました。他クラブの方との情報交換、関チヌの歴史等先輩諸氏から話を伺い、故南出会長の思い出話等ワイワイガヤガヤ賑やかに楽しく親睦を深める事が出来ました。(あまり寝ることは出来ず翌日は睡魔との闘いを覚悟。)

当日の参加メンバーは、全チヌ11名、関チヌ7名で御互いのクラブメンバーが分かれるよう抽選を行いペアを決め、その後ペアの代表が筏の抽選を行いました。当日の筏は双児島3台、ハギの下3台、児島3台で、各所1番から船頭が着けた順番に降り、ルールは、全チヌのルールを適用し、対象はチヌ、キビレの25cm以上で竿は2.1m以下1本、両軸リール、エサは自由で、長寸1位~3位、匹数1位で納竿はPM3:00(船が迎えに来て乗れるようにしておく)で競技する事となりました。

抽選の結果、児島1:西山班長(関チヌ)・鈴木氏(全チヌ)、児島2:山本氏(関チヌ)・大畑氏(全チヌ)、児島3:岡本氏(全チヌ)・前田氏(全チヌ)、ハギの下1:松元会長(関チヌ)・林氏(全チヌ)、萩の下2:三木氏(全チヌ)・島田氏(全チヌ)、萩の下3:金物氏(関チヌ)・滝下氏(全チヌ)、双児島1:上野氏(全チヌ)・藤阪、双児島2:秋山副会長(関チヌ)・村田氏(全チヌ)、双児島3:田辺氏(関チヌ)・河中氏(全チヌ)の組み合わせです。

AM4:30渡船開始し各筏に渡り順次釣を開始する運びとなり双児島筏に渡ったのは5:00過ぎで釣座を船頭に尋ねると冲向きとの事、左側角に上野氏、右側角に私が陣取り支度を始める。

まず団子の準備を始める。私の団子は市販の赤団子土をベースに荒引きサナギ、最近ハマっている、コーンベースの混ぜ物でオキアミ、アミエビ、激荒サナギを餡子に軟球程の大きさを5個投入し竿の支度を始める。当日の仕掛けは、ハリス1.7号、竿1.75m、錘B、針4号にボケを刺し第1投、団子が割れるも反応が……(潮も動かず)ボケも元気にあがってきます。とにかく手返し、刺しエサもオキアミ、コーン、サナギ、練りエサ等いろいろと試みますがまったく反応なし。となりで釣られている上野氏も同じ状況です。

7:00頃上野氏がオキアミでキスを釣り上げ、エサ取りの気配が出て来たのかと期待し打ち返すが何ら変わらず時間が過ぎて行きます。

とにかく魚の反応が無いことには、団子から抜け誘いを兼ね竿1本分誘い落とし込んで見たり、着底前で団子が割れるようにし落とし込んで見たりこれまで教わった事を一通り試みますが……エサはそのまま上がって来ます。チョイ投げで周りを探って見ますが当たりすらなくエサはそのまま……(だんだん眠気が)……気分を変えるためコーヒータム

再度気合を入れ直し、団子を打ち返すも状況は好転せず意気消沈気味に……9:30頃秋山副会長よりTEL、互いの状況を確認、私の場所は潮が動けば釣れるよとの事、期待しつつ打ち返しますが反応が有りません。

駄目もとでエサを青イソメに替え反応を見ましたが相変わらずの状況。団子から出し落として見た所チョコチョコと魚の反応が(本日初アタリ)出始める。誘いを入れゆっくりと落としてみるとガツんとチヌではないアタリです。合わせた所、見事に針がかり釣り上げたのはまあまあのカワハギでした。再びエサをオキアミに替え誘ってみますが反応が有りません。

再び魚の反応が出た青イソメで試みますが団子から出ても反応が有りません。竿1本分上げテンションを掛けない様に下げて行くとコツコツとアタリが出ます。餌だけ取られて入るのでカワハギかな?再び繰り返しますが針掛せず餌が無くなります。エサ取りが回ってきただけでもマシかなと繰り返している内にこれまでとは明らかに違うアタリが、針には乗らなかったが再びトライ、底から1mぐらいのところで同様のアタリが今度は少し送り込み竿先がグンと入った所で合せ釣り上げたのは今年初のチヌでした。久しぶりのチヌでしたので感激。

少し浮いている状態ではと思い再び繰り返しますが、釣れるのはチャリコ、ヒイラギばかり。お昼を回り青イソメも底を尽き、再びボケ、オキアミ、サナギと繰り返しますがアタリが有りません。何故か分かりませんが青イソメのみに魚の反応が出たのですが、こんな事は初めてです。これも良い経験と思い今後に行かせればと思います。

【結果】長寸優勝:藤阪 29.1cm 1匹 長寸2位:金物氏 28.2cm
匹数優勝:西山班長 29.0cm 1匹、25cm以下7匹
他、全チヌの大畑氏 19cm 1匹(計量後放流)
松元会長、秋山副会長、田邊氏、山本氏は残念ながら釣果なし

幸運にも今回の大会は、関チヌが上位を独占することとなりました。来年の南出杯は全チヌさんもりベンジに燃えてこられると思いますが、こちらにも負けずに頑張りましょう。暑い中の大会でしたが皆様お疲れ様でした。